

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------|-----|--------|--------------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人幸知会 トータスジュニア自治医大 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 8年 2月 15日 | | ～ | 令和 8年 2月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) | 9名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 8年 2月 15日 | | ～ | 令和 8年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) | 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 3月 1日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 「日課」と呼んでいる、学習と運動メインのプログラム | プログラムの導入当初からの研修、指導者育成 | 成長したと実感していただけるような支援を行うために、指導者育成をより行っていきたい。 |
| 2 | お子様の課題に合わせて、机上課題等の設定が行われている | 教材作成の工夫、実施後の職員間評価、変更 | 実施時の主体性、自己管理等の徹底、学校での学習進度の把握 |
| 3 | 集団を意識した行動ができるような支援 | 学習、運動、生活の多方面から集団を意識して取り組めるような組織編成、個別時の指導 | 集団を意識しつつ、自主性を養えるような意識改善、指導改善 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 職員役割明確化による臨機応変な行動の減少 | お子様の活動円滑化を図るために、細かな部分で役割分担を実施したが、担当外である役割に対する価値観等のずれ、対応の遅れがみられる。 | 役割を決めつつも、他の担当についても臨機応変に対応できるよう職員間で把握、意識改善を行う。 |
| 2 | 決まりやルールの明確化、細分化による職員間での把握漏れ、共有不足 | 職員等の入れ替えによりルールの根柢について把握が薄れてきている。 | 都度、ルールについて確認、環境やお子様の様子と照らし合わせ、現在の状況にあっているものが確認していく。 |
| 3 | 活動中のお子様の自主性が乏しい | 活動を行うにあたって、取り組み方の徹底に伴い、お子様の自主的な機会も制限されやすい傾向にあると考えられる。 | 環境やお子様の様子と照らし合わせ、現在の状況を含め確認、検討していく。 |